



ベヘモトプス発見25周年

ベヘモトプス発見25周年を締める

今年の博物館だより 足寄町で化石の事業をおこす直接のきっかけとなったベヘモトプス化石の発見25周年。展示の改造や発掘地を訪れる行事（あしよる化石教室）にとり組むとともに、この博物館だよりをとおして、発見から現在までのいきさつ（53号・59号）、名前の由来（55号）、アショロアとのちがい（54号）などをお知らせしてきました。53号で計画した行事のすべてを実現することはできませんでしたが、この1年をつうじて、ベヘモトプスの重要性を再認識することができたと思います。

最後の大発見 足寄のベヘモトプスは1980年に発見され、残っていた骨の部位が多かったので、全身の復元をすることができました。

なぞの動物といわれる束柱類（デスマスチルス仲間）の実体解明に貢献する発見は100年あまりの間に何度か（＝何標本か）ありましたが、この25年の間、ベヘモトプス足寄標本をこえるような発見はありませんでした。次の大発見あるとするとベヘモトプスやアショロアのさらに祖先の化石が見つかることでしょうか。

日本から情報発信ができる数少ない古生物（化石動物）であるデスマスチルス類の原始型＝ベヘモトプスは、これからもその重要性を維持し、末永く生きつづけることでしょう。



館内設備

ペレットストーブ ロビーに設置



80cmの壁に穴



とちぎ木質ペレット協同組合の生産活動が本格化し、11月から、旧足寄西中学校で、カラマツ材を使った木質ペレット=エコットの生産が始まりました。

足寄町では、木質ペレットの普及のために、二つの道の駅をはじめ6つの公共施設にストーブを設置しました。

博物館でも12月に入って設置工事がおこなわれました。場所はロビーから突き出た三角のラウンジのすぐ脇。コンクリートと芽登石（鮮新世の安山岩）をあわせて80cmの厚さの壁に吸排気の管をとおす穴を開けました。

ストーブの稼働は新年からになりそうです。暖かさを確かめてください。

博物館グッズ

オリジナルグッズ 売れゆき

博物館では、来館・化石見学・足寄訪問の記念にさせていただけるように、開館以来オリジナルグッズを製作し好評を得てきました。今年の売れ行きを紹介します。

○Tシャツ

ベヘモトプスとアショロカズハヒゲクジラの2デザインがあります。今年から生地の色を多彩にしたところ、売れゆきはいっきに昨年の5倍・・・229着。

○キーホルダー

ベヘモトプス発見25周年にあたる今年は、生体復元図をデザインしたものを追加しました。いままでの「金」「青」とあわせて・・・321個。

○エコバッグ

昨今の環境意識からレジ袋ももらわずに「買い物かご」としてバッグを持参する人が増加。その反映でしょうか。アショロアをデザインしたバッグも好調・・・178個。

○ステッカー

黄色地に黒の骨格をデザイン。車の窓に、バッグに・・・119枚。

◇そのほか、絵はがき、携帯電話用ストラップも堅調です。帰省Uターンのおみやげにどうぞ！

休館日 || 1月 1～6日、10日、17日、24日、31日

博物館の動き 12月～1月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

12月

21日 帯広畜産大学獣医学科解剖実習（骨学）
25日 博物館友の会「デスマクラブ」学習会
30日 仕事納め（休館いたします）

1月

7日 新年開館
14日 あしよる冒険王行事
24日 足寄高校地学講義

12月30日～1月6日
年末年始の休館

← 前号で1月5日までとしましたが、正しくは6日までです。お詫びして訂正いたします。